



さくらネット

令和5年(2023年)2月21日

真庭支部「私の主張発表会」開催



第40回中学生による『私の主張発表会』が2月16日(木)に北房文化センターで開催され、真庭市・新庄村から16名の生徒が参加しました。

本校からは影山ひかりさん(2年生)と岩元晴花さん(1年生)が代表として参加しました。「今、訴えたいこと」を自分らしい言葉で文章に起こし、覚えて堂々と発表した二人の姿はとても頼もしく、中学生がもつ力の素晴らしさを改めて感じる時間となりました。本校生徒の主張作文を紹介します。

【私の主張：その1】 「母への思い」 影山ひかり【優良賞】

私は、六人家族でお姉ちゃんが二人、弟が一人います。その弟は、幼いころから野球をしています。弟が野球を始めてから、お母さんとお父さんと弟は、三人そろろうと野球の話しかしません。楽しそうに話しているので、それはいいことだと思っています。でも、お父さんもお母さんも、弟の野球の試合があると、何よりも優先して見に行きます。私は、吹奏楽部に入っていて、演奏会があります。私は、お母さんに演奏会を見に来てほしいと思っています。毎回見に来てほしいわけではないけれど、たまには見に来てほしいし、コンクールなどの大事なときは、特に見に来てほしいです。でも、弟の野球があると、お母さんが見に来てくれることはありません。たとえ見に来てくれたとしても、お母さんが私を褒めてくれることはありません。「ここがいけん。」「あそこがいけん。」など、ダメだしがほとんどです。ただ褒めてほしいだけなのに。「がんばったね。」の一言がほしいだけなのに。お母さんの口からこういう言葉が出てきたことはありません。アドバイスをくれるのは、もちろん嬉しいです。でも、その日まで自分たちで、一生懸命わからないなりに頑張ったんだから、少しでも褒めてほしいです。勝山中の吹奏楽部は、お姉ちゃんが部長をしていたときから、部員が少なく、私が入部してからも、同じ楽器の先輩もほとんどいなかったので、私は自分の楽器について、詳しく教えてもらうことができませんでした。だから、演奏会の後に、楽器のことなどでお母さんからダメだしされ、それが原因で、言い合いになることがありました。最近も、そのことで言い合いになってしまいました。

でも、今よく考えてみると、私はお母さんにたくさんのことをしてもらいました。例え



ば、私が部のまとまりがないことに悩んでいたときのことです。私は誰にも相談できず、一人で抱え込んでいました。そのとき、お母さんに「しっかりした一年生がおるんじゃないけん、一年生に頼ってええんで。」と言われました。私は、お母さんのその言葉で、重かった気持ちが楽になりました。

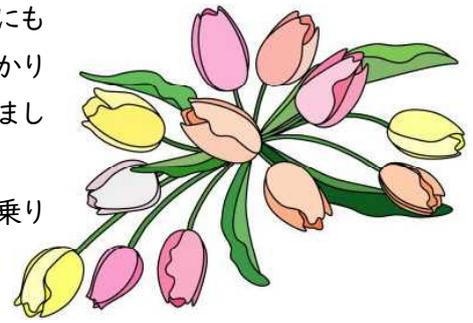
また、自分の意見がはっきり言えず、悩んでいたときには、「これを乗り越えたら、強くなるで。」と言ってくれました。それを聞いて、私は、(このままじゃだめだ。強くなれるように頑張ろう)と思うことができました。

私が悩んだとき、いつもお母さんが優しく相談にのってくれるおかげで、私は部活を頑張れるし、悩みがあっても前向きに考えられるようになりました。今、私は部長という立場になり、悩みも前より増えました。部活が嫌な時期もたくさんあったけれど、今は相談にのってくれるお母さんのおかげで、部活を休まずに頑張れています。

また、お母さんは、私のわがママをいつでも聞いてくれます。私はとてもわがママで、お母さんに迷惑をかけたことがたくさんあります。私の自分勝手な願いを、お母さんは忙しい中、いつも受け入れてくれます。「髪の毛切って。」とか「これ食べたい。」と言うと、「しょうがないな。」と言い、髪の毛を切ってくれたり、私の好きな食べ物を作ってくれたりします。部活からの帰りが一人のときは、毎回迎えにも来てくれます。

他にも、お母さんは私にたくさんのことをしてくれました。そんなお母さんに、今は感謝しかありません。でも、私は普段お母さんに、お礼を言えていません。これからは恥ずかしがらずに、感謝の気持ちを伝えていきたいです。

お母さん、いつもそばにいてくれてありがとう。私を産んでくれてありがとう。お母さんからもらったこの命を大切に、私はこれからも自分らしく頑張ります。



「朝学習」の取組～意見箱への投書から～

生徒会が設置している意見箱に、「日頃からもっと勉強時間を確保したいので、朝読書の時間に勉強ができるようになれば嬉しい」という投書がありました。これを受けて生徒会総務役員が対応を検討し、試行として2月22日(水)から3月3日(金)までの期間に限り、朝読書の10分間を朝学習の時間とすることになりました。目的は「テスト期間中の勉強時間を確保することで、少しでも勉強に向かう姿勢ができる」「生徒会が、より良い学校生活を目指して自主的に話し合い、取り組めるようになる」の二つ。



生徒会総務役員と校長との協議の様子

従って、この10分間は、ただ自習の時間とするのではなく、学級委員会が対策プリントを作成するなど、生徒全員が自主的に取り組む学習の時間ということになります。

朝読書には朝読書の意義があるので、この取組が今後どのようなようになっていくかは不透明ですが、生徒自身が目的や効果を考えた上で、新たな取組に挑戦することはとても大切なことです。「10分を惜しんで勉強する」という姿勢が、全校生徒に広がっていくことを期待しています。(家庭でも、1時間以上は学習するリズムができていくことが大前提ですよ！)